

子ども達も  
な成長・発達の  
ために皆で力を  
合わせてましよう！

## 豊中市教委

### 府下義務制学校で初めて再任用の不合格

合否基準も不明 これでは安心して働けないの声

#### 民間の雇用拒否に

##### 労働者が勝利

##### 最高裁判決

民間

にある津田電気計器で組

員（全労連）であった

岡田さんはその不当性を

訴えて、最高裁でも会社

側の不当性を明らかにし、

勝利判決を得ました。

判定基準を明らかにし、

理由説明を！

府教委は、それまでの

間でも60歳からの再雇用

時に希望したにもかかわ

らず継続雇用拒否をする

会社があります。多くが

泣き寝入りになっていますが、箕面市

と恐れられますが、

ん。

明）

も明らかな中、基準や理由

しかなかった中、基準や理由

にすることは許されませ

下記のような抗議・要請

書を書き、市教委に行いま

全教豊中は3月18日に

年金支給開始年齢の引き

上げにともない、定年退

職からの年金支給開始ま

での生活の保障のために導

入されたものです。

特に、06年高年齢者雇

用安定法の改正によって

65歳までの雇用確保規定

が、従来の事業主の努力

義務から法的な義務とさ

れました。

再任用選考不合格に対する

抗議・要請書

貴委員会は人事権の移譲

のもと豊中市独自で初め

て2013年度の再任用教職

員採用選考をおこないまし

た。分会から全教豊中に

寄せられた情報によると、

豊中市での再任用希望者

の中から「不合格」者が

出たと聞いています。

そもそも再任用制度は、

年金支給開始年齢引き上

げに伴い、定年退職から年

金支給開始までの生活保障

のため導入されたものです。

制度の趣旨からも希望者

全員の任用が原則です。と

りわけ来年度末定年退職

者からは、退職後に年金が

一切支給されない期間が生

じるため、生活保障という

性格が一層強まります。

貴委員会は、不合格にな

った理由も再任用合否判定

の客観的な基準も公表して

いません。このようなこと

- 1、再任用合否判定の基準を明らかにすること。
- 2、不合格者に対して、不合格の理由を説明すること。
- 3、病気休暇・病気休業中の教職員についても、機械的に不合格にしないこと。

# 豊中市新年度の教育関係予算をみる

豊中市の新年度の教育関係の予算。校舎耐震化や施設整備（校舎増築・空調など）現場の願いに応えた予算化も進められています。一方、疑問をいだく予算化もみられます。予算化されたいくつかについてみていきます。

## ★小中学校の教頭複数配置

小学校3校に教頭を複数配置すると、「事務系の業務と指導系の業務等に教頭の業務を分担する」としています。

表のように学校配当の人数の中から教頭を複数にするため、実質教員は1名減。市費30時間講師を入れるとしています。これは、現場の忙しさは何一つ解消しません。大阪府下で教頭を複数配置するのは豊中市が初めてです。他市に見られ

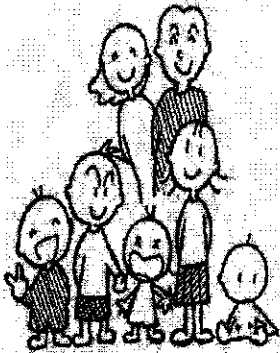
ない管理職の地域関係の仕事の整理など全教員は求めてきましたが、人事権の移譲でやることは「教頭複数配置」ではないはず。

## ★小学校課題別学級編成の推進

全教員中では市独自の少人数学級の推進をもとめています。そこにすすむまでにも、35人越えの学級など、学校からの要望があれば、学校独自に弾力的な運用を認めるよう、これまで交渉で求め、昨年の対市交渉で前向きな回答を得たものです。

この施策は、組合や現場からの声に応えたものと言えます。

ただ、30時間市費講師配置であり、また、希望したすべての学校で認められるわけではなく、そ



の配置基準の客観性・公平性を明らかにする責任が市教委にはあります。

## ★小学校高学年教科担任制

12年度からスタートした事業を拡大するとしています。

12年度は10校分の予算立てされていたにもかかわらず、手をあげ希望した学校は6校。しかも希望校にもなかなか時間講師が配置されない事態に。市教委は41校にこの事業を広げたいとしています。

求める講師が配置されるのか。「どのくらい（経験の少ない人）が来るのか」から、6年生の授業を任せられるのか？」

教職員定員配置基準

★小中学校の教頭複数配置

学級数(支援学級含む) 30クラスの標準

| 校長 | 教頭 | 教員 |
|----|----|----|
| 1  | 1  | 33 |
| 1  | 2  | 32 |

↑ 30時間市費講師配置

★小学校課題別学級編成の推進

| クラス数    | 教員数    |
|---------|--------|
| 12学級まで  | 学級数+1名 |
| 13~21学級 | 学級数+2名 |
| 21学級以上  | 学級数+3名 |

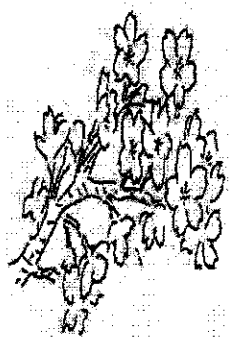
↑ このいわゆる「専科」枠を使って、学校独自に少人数学級にする。

30時間市費講師を配置する。

## ★マチカネ先生塾

豊中市の教員を志望する学生に対して、「豊中の教育の理解の深まりや教員の向上を図る」として約三百万円の予算をかけた。30人の学生を対象にこの

の教科で希望すればよい？」など現場の困惑の声が既に聞こえてきています。「教科担任制」事業を拡大するのではなく、「課題別学級編成」が進む方向で豊中市は人的支援をすすめてほしいものです。



なうとしています。問題点として

- 教員採用試験の公平性を崩しかねないこと。
- 採用する側である教育委員会に都合のよい人材が優遇されること。

教員志望学生に現場に即した実践的訓練の場を与えるということは、よいことでは。これは否定しません。しかし、それは養成側である大学が主体となつてすること、べきものであり、採用側の教育行政はそれに協力する立場にとどまるべきです。

豊中市の採用を優先的にするものではない（市教委）としていますが、大阪府の学生先生塾（教志セミナー）では、受講者の一次試験免除が始まっています。他府県でも学生塾生の合格率が一般選考より高くなっています。